

木材ジャーナル名古屋・せいぶ

令和4年4月号 No.179

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

名古屋港木材産業協同組合 第47回通常総会開催

名古屋港木材産業協同組合の第47回通常総会が、令和4年3月23日（水）午後2時30分から名古屋港木材会館会議室で、委任状を含め53名の組合員が出席し、開催されました。

総会は、服部伸一理事長を議長に選出し、つぎの議案を審議し、いずれも原案通り可決されました。

議事の概要

第1号議案 第47期事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の承認について

第2号議案 第48期事業計画及び収支予算（案）の承認について

（事業計画の要旨）

- 1 名古屋港木材産業協同組合の事務所を、名古屋港木材会館内に置き、名古屋港木材会館の運営を、引き続き株式会社名古屋港木材会館に委託し、会議室を組合員及び関係者の利用に供する。
- 2 組合運営上の諸問題について、関係官公署及び関係団体と折衝協議を行い、関係官公署からの通達等についても組合員への周知に努める。なお、貯木場の問題については、名古屋港管理組合と協議しながら検討する。
- 3 名古屋港西部臨海地帯の諸問題について、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と、官公署側協議組織である「飛鳥村臨海地区連絡協議会」の協議により解決に努める。また、西部臨海工業地帯防犯協会を通じて、暴走族の排除を含めた地域の犯罪予防及び治安の維持並びに名古屋港西部臨海地帯の発展に努める。
- 4 名古屋木材港利用推進協議会を通じて、名古屋木材港の円滑な運営と利用推進を図る。なお、組合員の貯木場の使用及びこの門の使用について、名古屋港管理組合と協議調整を行い、組合員の利便を図る。
- 5 名古屋木材港再編整備協議会に出席し、港湾計画改訂に反映させるため、将来の西部木材港のあり方について意見を述べる。
- 6 組合員の事業に関する経営技術等の改善向上、労働災害等の防止及び組合員に諸情報を提供し、次の事業を行う。
 - (1) 組合員の経営技術等の改善向上を図るため、視察、講習会の開催
 - (2) 労働災害の防止のため、安全衛生活動を推進し、津島労働基準監督署の指導による、講習会、安全衛生パトロール等の実施
 - (3) 教育情報誌「広報 木材ジャーナル名古屋・せいぶ」の定期発行、HPへの掲載
 - (4) 飛鳥村商工会との異業種交流事業に参加する。
- 7 組合員に対する福利厚生事業として、名古屋木材健康保険組合の事業を後援または共催し、保健・レクリエーション事業に参加する。
- 8 最新の木材企業の土地所有状況を調査し、当組合未加



入企業の新規加入に努める。

9 経費削減に努める。

10 引き続き名古屋港木材会館の新規テナントの確保に努める。

11 前各号に付帯する事業について、必要に応じて実施する。

第3号議案 経費の賦課及び徴収方法並びに加入手数料その他決定について

1 賦課金

平等割	年額	20,000円とする
面積割		名古屋港木材団地の所有土地 または常時使用する土地 1平方メートル当り 年額 2円とする
水面割		使用水面（貯木場） 1平方メートル当り 年額 1円とする

第4号議案 理事及び監事の選挙について

役職名	氏名	他会社の代表状況	備考
理事	服部 伸一	服部産業株式会社	再任
理事	西垣 洋一	株式会社 山西	再任
理事	鈴木龍一郎	材惣木材株式会社	再任
理事	江口 達郎	江口木材株式会社	再任
理事	鈴木 和雄	株式会社東海木材相互市場	再任
理事	嶺木 昌行	丸美産業株式会社	再任
理事	丹羽耕太郎	名古屋木材株式会社	再任
理事	吉村 福德	吉村製材株式会社	再任
理事	浅井 勇詞	アサイウッドマテリア株式会社	再任
理事	梅谷 雅和	株式会社水野商店	再任
理事	鎌田 茂徳	大日本木材防腐株式会社	新任
理事	櫻井 雅規	櫻井木材株式会社	再任
理事	佐治知加子	名古屋港木材産業協同組合	新任
監事	上地 浩之	上地木材株式会社	再任
監事	山田 晃司	天龍木材株式会社	再任

また、総会後に開催された理事会で、

代表理事（理事長） 服部伸一

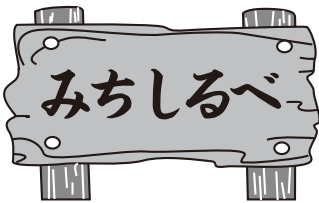
副理事長 西垣洋一

副理事長 鈴木龍一郎

副理事長 江口達郎

各氏が選任されました。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



相互扶助の必要性

名古屋港木材産業協同組合
理事長 服部 伸一

木産協（名古屋港木材産業協同組合）は長年にわたり協同組合として当地域で事業を行う木材業者の為に地道な活動を継続的に行い、その役割を果たしています。

協同組合は、共通の目的を持った会社（人）同士が集まって作る経済組織です。出資金という形で自分達で元手を出し合い、組合員となって事業を利用し、組合員として運営にかかわっていきます。

協同組合は決して日本特有のものではありません。1498年にイギリスのスコットランドのポーター（荷物を運ぶ職人）の協同組合（cooperative society）をモデルにそのしくみは世界中に広がり、日本でも天保年間、農村指導者の大原幽学の創案で下総国香取郡長部村（現・千葉県旭市長部）で農村救済のために協同組合のような仕組みが作られました。

協同組合は下記の点で株式会社とは異なります。設立について行政の許可が必要である点、議決権について出資金の大小に係らず1人1票である点、協同組合では1人の出資額を全体の25%までとする点、これらは、一部の組合員に利益が集中しないよう公益性を担保するためのルールですが、最も本質的な違いは株式会社が営利を主要な目的としているのに対し、協同組合の目的は「組合員の間での相互扶助」である点です。

木産協はその定款においてその目的を「組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員に必要な相互扶助事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつその経済的地位の向上を図る」と記し、入会資格を「名古屋港西部臨海工業地帯において木材産業に携わる事業者とする」と規定しています。

西部木材団地において、立地する木材業者がそれぞれの経済活動を促進できる為に木産協の存在が必要不可欠であることについてさらに理解が進むよう、自信をもって情報発信していかなければならないと感じています。

◆ 合縁木縁 ◆

木場すずめ

「子供の成長」

私には去年生まれました1歳の子供がいます。コロナ禍ということもあり、仕事での懇親会などのイベントがない分、今はほぼ毎日家に帰ったあとは子供と一緒に過ごしています。一緒に過ごしていると子供の成長には日々びっくりさせられます。ちょっと前まで登れなかった段差を今ではものともせず越えていたり、いろいろな声を出したりと子供が新しいことができるたびに妻と喜んでます。

小さい頃にいろいろな経験をさせたり学ばせたりした方がいいということを知り、最近では妻と子供に何をさせてみようかと話しあったりしています。今では学校でも英語やダンスの授業が始まるなど、自分の子供の時よりも多くのスキルが求められる時代になっており、大変な時代だと思いました。

子供の学習についてネットやYouTubeなどで調べてみると数多くの情報を見つけることができましたが、もちろんすべてを学ばせることもできませんので、多くのものからどれを取捨選択するかが悩ましいところです。一番大事なものは子供の気持ちなので、子供の反応をよく見て無理をさせないように選んでいきたいと思っています。

今は情報があふれており、子供の育て方にも様々な方法があるかと思いますが、そのような情報を利用しつつも、一番は子供と一緒に過ごす時間を大切にしていこうと思っています。これもネットからの情報ですが、子供の時に親と一緒にいたり、遊ぶ時間が多ければ、子供の精神が安定してその後の性格の形成にも良い影響があるそうです。平日は仕事があり一緒に過ごす時間が少なくなってしまうのですが、それでも休日なども利用してできるだけ多くの時間を子供と過ごすことができれば良いと思います。

これからの子供の成長を楽しみにしていきたいと思っています。

今回は、株式会社東海木材相互市場 鈴木 善一郎氏にお願いします。

『災害への備え』

2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災から今年で11年の歳月が経過します。

建物の倒壊や津波により1万5千人以上の尊い命が犠牲となったこの震災は、現在でも動画配信サイト等で当時の被害状況を見る事ができます。閲覧された人は津波が町全体を飲み込む映像に衝撃を受けたのではないのでしょうか。

私は飛島の自社工場で震度3程度の揺れが長く続いた事を覚えています。後で津波被害の映像を見るまでは津波に関する危機感は殆どありませんでした。

震災後、弊社の防災訓練は地震による津波を想定し、避難場所を敷地内の駐車場から事務所2Fの屋上へと変更しました（2019年より避難場所は名港海運(株)倉庫3Fへ変更）。

避難の際、全従業員はヘルメットとライフジャケットを装着し、更に洪水等で会社が孤立し帰宅困難となった場合に備え3日分の非常食と水、懐中電灯、トランシーバーも揃えました。

自宅に於いては地区指定の避難場所までのルート確認、衣類や食料の入った非常持出用のリュックを玄関近くに常置しています。

近い将来、東海地震や南海トラフ巨大地震が発生する可能性が高いと予測されていますが、自然災害は地震だけではなく暴風、豪雨、洪水と多岐にわたり発生します。

これらの災害に対し日頃から「災害への備え」として備蓄品を常置しておけば落ち着いて行動し自身やご家族の命を守る事ができると思っています。

皆さんの職場、ご家庭でも3月11日を機に再度災害に対する備えを確認されてはどうでしょうか。

名古屋港木材産業協同組合 事務局体制のお知らせ

事務局体制

名古屋港木材産業協同組合
株式会社 名古屋港木材会館

事務局長
顧問
顧問

佐治 知加子
柿内 賢治
※管理組合対応 ※企業連関係担当
後藤 明久 (名古屋木材健康保険組合前常務理事)
※不動産管理 ※木産協事業全般担当

<任意3団体>

名古屋木材港利用推進協議会

会長 柿内 賢治

名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会
西部臨海工業地帯防犯協会

事務局長 柿内 賢治

名古屋港木材産業協同組合 事務局長就任挨拶

木材業界の更なる発展にむけた課題に取り組む機会をいただき大変光栄に思っております。またこのような大役で責任の重大さに身の引き締まる思いです。服部理事長はじめ理事の皆様、組合員の皆様のご協力をいただきながら、精一杯務めさせていただきます。宜しくお願い致します。

佐治 知加子

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

春の安全なまちづくり県民運動の実施

令和4年4月1日から4月10日までの間、「春の安全なまちづくり県民運動」が実施されます。この運動は、県民一人ひとりが防犯意識を高め、県民総ぐるみで犯罪のない安全で安心に暮らせる社会の実現を目指すものです。防犯スローガンの「3N(ない)運動」

- 犯罪にあわない 一人ひとりが防犯意識を高め、日頃から防犯対策を実施する。
- 犯罪を起こさせない 自主防犯パトロール等を行い、地域の防犯力を高め、地域ぐるみで犯罪を起こさせない環境を作る。
- 犯罪を見逃さない 犯罪を目撃したり、不審者を発見した時は、すぐに警察へ通報する。 を実践しましょう。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956

URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

より美しく健康な住まいづくり

省令準耐火適合商品

CORNER BOARD

コーナーボード

ざかやか せうこうボード FCボード

チヨダウーテ株式会社

中部支店
TEL059-365-5211 FAX059-364-5219

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣 洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部 伸一
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会